

地域医療情報システムのプライバシー保護についてに  
5E-9 アンケート調査分析結果を中心に

神戸商科大学 井内善臣  
加藤恵正

(財)社会システム研究所 山本誠次郎

1. はじめに

地域医療情報システムにおけるプライバシー保護問題の解決策を見出すために、現在各地で計画あるいは運用されている保健医療情報システム、救急医療情報システム、地域カードシステム、福祉支援情報システム、行政窓口システムについてプライバシー保護の観点から、その実施状況と問題点、経営主体による違い、プライバシー保護に対する姿勢と問題点、将来への展望などに関するアンケート調査を実施した。本研究は、このアンケート調査と、補完的に実施したヒアリング資料をもとに、現状を整理してその全体像を把握し、問題点を明らかにすることによって、各種システムのプライバシー保護に関わる問題の解決策を見いだそうとするものである。

2. 対象としたシステム

図表1は、全国各地の自治体で実施運用されている地域情報通信システムのシステム区分別整備状況の一部である。

区分	直営	公社	第3セクター	その他	合計
行政窓口サービスシステム	403		4	1	408
地域カードシステム	9				9
保健医療情報システム	96		7	25	128
救急医療情報システム	64		4	7	75
福祉活動支援情報システム	42		4	4	50
.....	.....	.....	.....	.....	.....
合計	4504	31	350	188	5073

(注) 構想中、開発中のシステムも含む

図表1 地域情報通信システムのシステム区分別整備状況  
(「地域情報政策ハンドブック平成5年度版」第一法規より抜粋)

そこで、本研究では、地域情報通信システムのうち「保健医療情報システム」、「救急医療情報システム」、「福祉活動支援情報システム」、「地域カードシステム」を対象に、アンケート調査を実施した。対象自治体数は65で有効回答数は105システム(有効回答率61.5%)であった。

3. 調査項目

調査の内容は、大きく分けて5項目である。

(1) システムのプロフィール

- ①システムの進捗状況 ②適用支援施策の種類 ③対象エリア ④対象人数 など

(2) ICカードの利用について

- ① ICカードの利用の有無 ② ICカード利用システム概要（パスワードの設定、料金、発行者、運用管理者） ③ ICカード利用に対する住民評価（プライバシー保護、カードの紛失、データへのアクセス等） ④ホストコンピュータへの接続の有無 など

(3) システムのハードウェアについて

(4) システムのソフトウェアについて

- ①カード発行枚数 ②データ入力項目 など

(5) プライバシー保護について

- ①セキュリティ確保のための法制度 ②プライバシー保護のための法制度 ③プライバシー関連のトラブル など

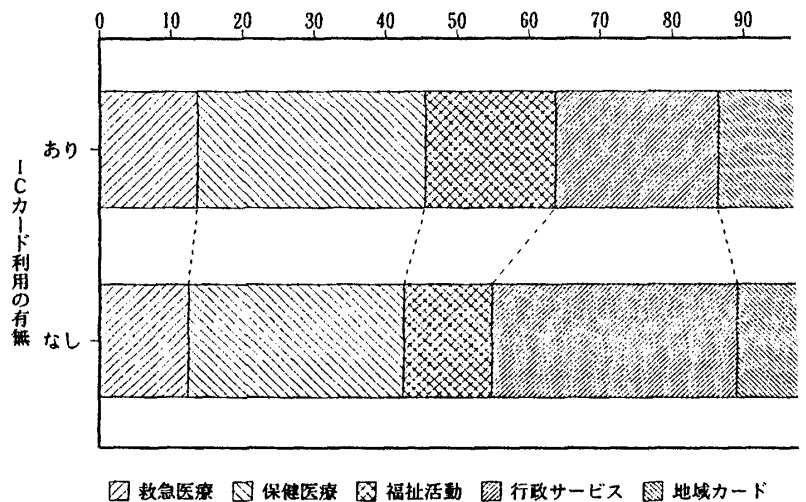
4. 調査分析

ここでは、分析結果の一部を紹介する。

(1) ICカードの利用について

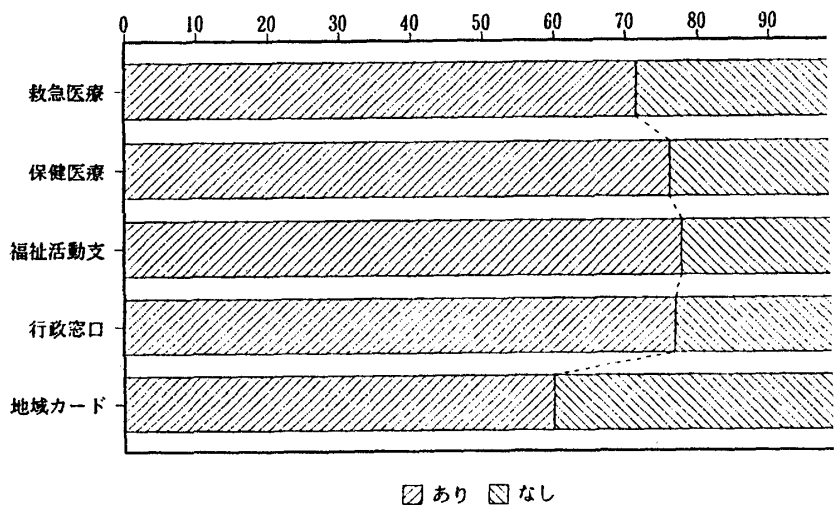
プライバシー保護やセキュリティの点から、ICカードの利用が注目される場所であるが、意外とその利用は少なく、ICカードが利用されているシステムでは、保健医療情報システムがもっとも割合が高いが、それでもICカードを利用しているシステム全体の約3割に過ぎない。

ICカードの利用



(2) プライバシー保護の法制度について 全体の3/4がなんらかの法制度を制定しており、地域カードシステムを除くシステムではプライバシー保護の法制度の整備の割合が高い。

プライバシー保護法制度



本研究は財団法人電気通信普及財団の助成を受けて行いました。ここに感謝の意を表します。